



創造活動だより

VOL.1

新緑の美しい季節となりました。創造活動係では、豊中市在住で不登校の学齢期の児童生徒を対象に、家庭と学校の間ステーションとしての居場所を提供し「創造活動」を行っています。年5回発行の本紙「創造活動だより」では、子どもたちの様子や今後の予定をお伝えしていきます。

～コラム～

ふと、【創造活動】の意味について考えて見ました。【想像(そうぞう)】・実際に知覚に与えられていない物事を、心の中に思い浮かべること【創造(そうぞう)】・最初に作り出すこと・人まねではなく、新しいものを自分から作り出すこと

※Oxford Languages より

同じ読み方でも、意味は異なります。簡単に言うと、【想像】は「何かを思うこと」で【創造】は「何かを作り出すこと」である。と。「1日中ベッドの中で何も言わず過ごせたら・・・なんてしあわせ」「大好きなチョコレートパフェをお腹いっぱい食べられたら・・・ぐふふ」これは自分の頭の中で思うことなので【想像】、です。よね。「1日中過ごしても何も言わず、賢くなり、お金が稼げるベッドを発明した」「お腹いっぱい食べても虫歯にならない健康に良いチョコレートパフェが販売された。これは誰もしたことないようなものを作ったので【創造】、でしょうか。有名な猫型ロボットの話に出てくるまるで夢のような話ですが、今の世の中にあるものも大昔の人からしたら信じられないものはたくさんありますよね。例えばドローンやスマートフォン。【空を飛ぶ】【遠く離れた人と顔を見て話ができる】道具を作りたい、なんて、今から1000年も前の人々に話したら一体どんな風に思われるのでしょうか。こんな大きな話でなくても、日常の中にも【想像】と【創造】は存在しているのではないかと思います。「ドラムを思いっきり叩いたらかっこいいだろうな」と自分の仮の姿を想像することから、実際に叩いてみたとします。初めは誰かの真似かもしれませんが、誰も叩いたことのないようなリズムを打ってみる。これだけでも意味から考えると新たなリズムを創造したことになります。何よりも今までしたことのないことにチャレンジしたことや昨日の自分では想像できなかったことに取り組んだことは、自分の歴史上からすれば自分を創造していく過程なのかなと思います。でもそんな自分を創造する活動を日々繰り返していくことで、いつか自分や誰かのためのドローンやスマートフォンのような創造物に繋がっていくかもしれません。

児童生徒課の創造活動はこうした、やってみないと、興味関心が持てることが実現できるよう、それぞれの自主創造につながる活動をサポートしていく場所です。青少年交流文化館いぶきに移転してきて2年目を迎えました。昨年度はガールスカウトさんと一緒にゴーヤの育成をしたり、高校の美術部と連携してクリスマスの飾り付けをしたり、と新たな取り組みも行いました。少年文化館でしてきた支援に合わせて、ここでしかできない支援がどんなものなのか、これから必要な支援は何なのか、など、私たちにとても新しいものを創りだしていく1年にしていきたいと思っています。その中で、ここに通う人たちが一つでも新しい自分を創造することができる、そんな支援をしていきたいと考えています。

創造活動に参加する時の約束

- ★筆記用具を忘れず持ってきてきましょう。
- ★活動するプログラムや季節に合わせて、必要な物を持ってきてきましょう。(水筒、タオルなど)
- ★自転車利用の場合、駐輪場に止めて鍵をかけましょう。
- ★登館する時は事故のないようにしましょう。
特に自転車での事故には気をつけましょう。
- ★寄り道はしないようにしましょう。
- ★館の中では、携帯電話は使わないようにしましょう。
- ★時間を守り、身だしなみに気を配りましょう。
- ★欠席連絡は、毎回必ずしましょう。

家庭生活で気をつけること

- 基本的な生活習慣を守りましょう。(間食をとり過ぎず三食をしっかり食べ、早寝早起きをしましょう。)
- 自分で計画を立て、充実した時間を持ちましょう。
- 相手のことを考えた行動をしましょう。
- 家庭の一員としての役割を持ちましょう。
- 自分が苦手なことにもチャレンジしましょう。



健康診断について

学校では、新年度に健康診断が実施されます。学校での検査が受けられず、病気を見過ごしてしまうことがないようにしましょう。学校と相談して検査を受けるようにしてください。

